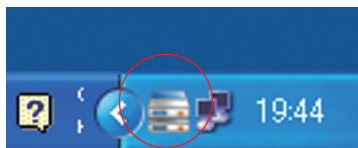


RAID Manager 取扱説明書

■ RAID Manager の使用方法	1
ベーシックモード	2
・ RAID の構成方法	3
・ RAID の削除方法	4
アドバンスドモード	5
・ RAID スタンバイ時間の設定	6
・ RAID リビルド優先度設定	6
■ RAID Manager を使った複数の RAID 構築方法	7

■ RAID Manager の使用方法

- ・ RAID Manager を起動するには？



デスクトップのアイコンを開くかタスクトレイのアイコンをダブルクリックすると RAID Manager のウィンドウが表示されます。

※ RAID Manager はインストールすると常駐します。

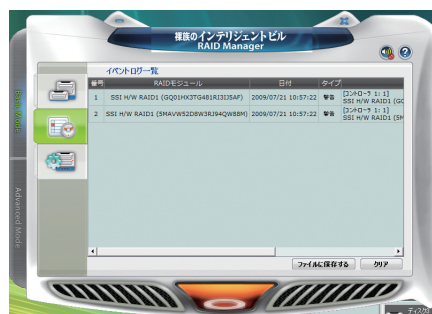
※ CRIB35EU2 がホットプラグされると画面に表示されます。

ベーシックモード



■ RAID とディスクの情報

RAID とディスクの構成情報を表示します。



■ イベントログを見る

RAID のイベントログを表示します。
【保存】をクリックするとテキスト形式でファイルに保存します。
【クリア】をクリックするとイベントログを消去します。



■ ベーシック RAID 構成情報

RAID を構成する：構成する RAID を指定します
全ての RAID を削除する：CRIB35EU2 内にある HDD の RAID 情報を削除します。
適用：ConfigureRAID で指定した RAID 設定で RAID を構築します。
パスワード入力：この製品では使用出来ません。

背面の DIP SW を利用しなくても、この画面で RAID の構築および RAID 情報の削除が可能です。

・ RAID の構成方法

1.



左側の "RAID を構成する" から構成したい RAID を選択する

※ HDD の接続状況から、利用できない RAID モードは設定できません。

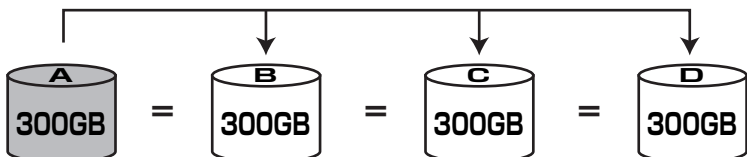
例：HDD2 台 の 場 合 は RAID5 や RAID10 は設定できません。
HDD4 台 の 場 合 は RAID10 が 優 先 され る の で RAID1 は 設 定 出 来 ません。

■ CLONE モードについて

CLONE モードは背面の DIP SW に設定項目がありませんので、RAID Manager のみで設定する事が可能です。

CLONE モードに設定すると、接続されている全ての HDD に同じ内容を書き込みます。認識される容量は、一番小さな HDD の容量と同じになります。

同じデータ ➡



2.



RAID 構成を選択したら【適用】をクリックする

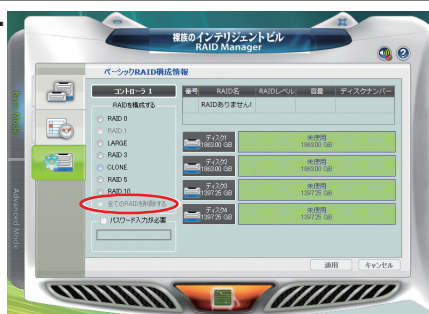
【適用】をクリックすると、選択した構成で RAID を構成します。

このとき Windows から HDD が切り離され、再度認識される等の処理が行われますので、数分かかる場合があります。

eSATA 接続の場合、ホストアダプタによっては、再起動するまで RAID を認識しない場合があります。

・RAID の削除方法

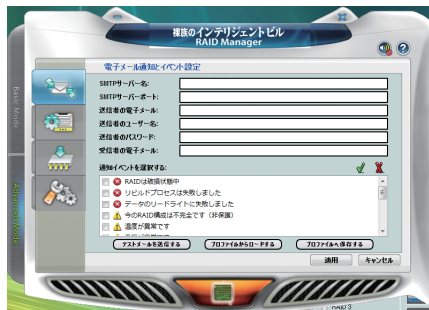
1.



左側の"RAIDを構成する"から【全てのRAIDを削除する】を選択して"適用"をクリックします。このときWindowsからHDDが切り離され、スタンダードモードで再度認識される等の処理が行われますので、数分かかる場合があります。

アドバンスドモード

※アドバンスドモードは PC に詳しい方向けです。



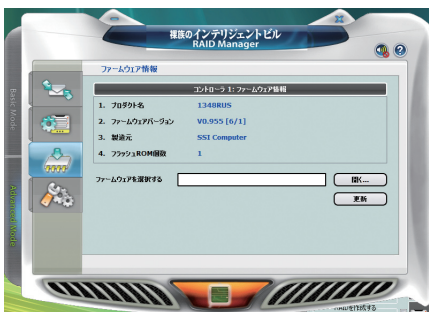
■電子メール通知とイベント設定

障害や警告イベントが発生した際にメール通知を行う処理を設定します。



■アドバンスド RAID 構成情報

この機能は利用できません。

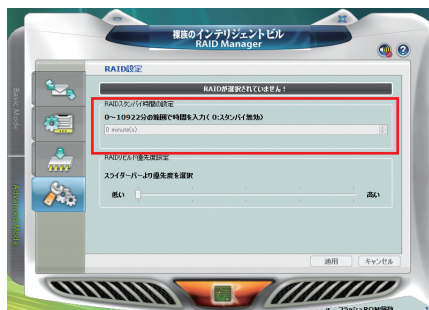


■ファームウェア情報

ファームウェア情報の表示とファームウェアのアップデートを行います。

■ RAID 設定

・ RAID スタンバイ時間の設定



スリープモードに入る時間を設定します。

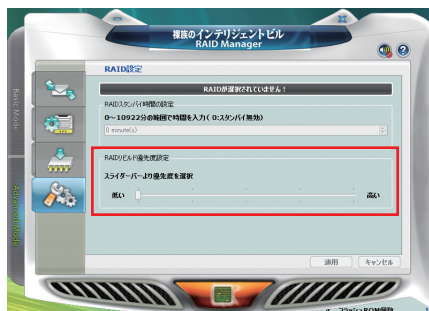
0 ～ 10922 分の数値が設定可能です。

※ 0 に設定するとスタンバイに入りません。

設定方法：minute(s) のフィールドに数値を入力して【適用】をクリックします。

※ 3 秒毎に CRIB35EU2 の情報を取得して表示が更新されますので、入力から適用をクリックするまでに 3 秒以内に行ってください。

・ RAID リビルド優先度設定



RAID のリビルド時にのコントローラ負荷優先度を設定します。

【低い】側に寄せるとコントローラを低負荷で動かしてリビルドしますので、リビルド中でも転送速度の低下が低くなりますが、リビルドの完了が遅くなります。

【高い】側に寄せるとコントローラを高負荷で動かしてリビルドをしますのでリビルドの完了は早くなりますが、リビルド中の転送速度の低下率が上がります。

設定方法：スライダバーを左右任意の位置に合わせて【適用】をクリックします。

※ 3 秒毎に CRIB35EU2 の情報を取得して表示が更新されますので、入力から適用をクリックするまでに 3 秒以内に行ってください。

■ RAID Manage を使った複数の RAID 構築方法

RAID Manager を利用すると、1 台の CRIB35EU2 内に複数のボリュームを構築する事が出来ます。

例：RAID1 と RAID1 RAID1 と RAID0

※構築可能なのは HDD2 台ずつです。

※ CLEAR RAID と組み合わせることは出来ません。

※ RAID を構築する場合、HDD のデータは全て失われます。

必要なデータは必ずバックアップを行っておくようにお願いします。

ここでは 2TB の HDD2 台と 1.5TB の HDD2 台で、それぞれ RAID1 を構築する例を説明します。

1.



まず背面の SW を利用して RAID1 を構築します。

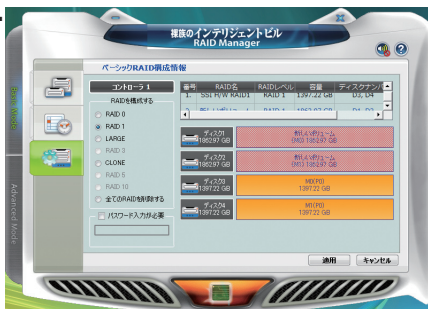
2.



一旦 CRIB35EU2 の電源を切り、HDD を接続します。

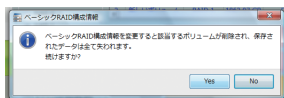
電源を入れて PC と接続すると " 未使用 " 状態の HDD が表示されます。

3.



ベーシック RAID 構成情報にて RAID1 を選択すると、新たに追加した HDD から自動的に RAID を構築します。

"適用" をクリックすると RAID が構築されます。



4.



これで二つの RAID1 ボリュームが構築されました。

